

## 令和 2（2020）年度事業報告

令和 2（2020）年 4 月 1 日から令和 3（2021）年 3 月 31 日までの事業概要は次のとおりである。

### 1. 法人の基本情報について

#### 〔1〕会 員

令和 2（2020）年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1587 名	うち海外在住外国人正会員 5 名
特別正会員	42 名	
団体正会員（公益）	73 口	
団体正会員	63 口	
学生会員	329 名	
名誉会員	14 名	
合 計	2108 名	

〔2〕運営に関する会議を次のとおり開催した。

#### (1) 第 40 回通常総会

- 1) 日 時 令和 2（2020）年 6 月 16 日（火） 13 時 00 分～13 時 37 分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 1057 名
- 4) 議 題

- ア. 令和元（2019）年度決算（案）について
- イ. 参与の選任について

報告 令和元（2019）年度事業報告

#### (2) 第 125 回理事会

- 1) 日 時 令和 2（2020）年 5 月 28 日（木） 16 時 00 分～18 時 15 分
- 2) 場 所 学会 WEB 会議室
- 3) 出席者 松井会長他理事 22 名、監事 3 名、運営幹事 2 名、他に事務局
- 4) 内 容

- ア. 入退会者等の承認
- イ. 各種表彰の選考
- ウ. 規程等の改定、制定等について
- エ. 研究委員会の活動報告と継続申請について
- オ. 第 40 回通常総会の開催方法、議決権行使および委任の方法の承認
- カ. 議案および議事資料の確認、令和元（2019）年度決算（案）および事業報告について

キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告事項

ク. その他

(3) 第126回理事会

1) 日 時 令和2(2020)年9月16日(水)16時00分～17時20分

2) 場 所 学会WEB会議室

3) 出席者 松井会長他理事21名、監事2名、運営幹事9名、他に事務局

4) 内 容

ア. 入退会者および特別正会員への移行の承認

イ. 規程等の改定、制定等について

ウ. 令和2年7月豪雨による被災会員に対する学会としての対応について

エ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告

オ. その他

(4) 第127回理事会

1) 日 時 令和3(2021)年3月4日(水)16時00分～17時43分

2) 場 所 学会WEB会議室

3) 出席者 松井会長他理事21名、監事3名、運営幹事2名、他に事務局

4) 内 容

ア. 運営理事の担当交代

イ. 入退会者および特別正会員への移行の承認

ウ. 各種表彰の選考

エ. 規程の改定について

オ. 令和3(2021)年度事業計画案と予算案の承認

カ. 2021-2022年度理事・監事被選挙人名簿について

キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告

ク. その他

〔3〕運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

2. 事業活動等について

〔1〕公益目的事業

公1 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための年会・シンポジウム・セミナー等の開催

公1-1. 年会

年会を次のとおり開催した。

(1) 第55回日本水環境学会

1) 開催日 令和3(2021)年3月10日(水)～12日(金)

2) 場 所 オンライン開催(京都大学)

3) 参加者 1019件

4) 一般発表:発表件数512件(口頭355件+ポスター157件)の他、特別講演会、水環境ビジネ

スガイダンス、会員企業・研究機関等就職説明会、各賞の発表と表彰が行われた。

#### 公1-2. シンポジウム

シンポジウムを次のとおり開催した。

(1) 第23回日本水環境学会シンポジウム

- 1) 開催日 令和2(2020)年9月9日(水)~10日(木)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 411名
- 4) 19の研究委員会と本部企画によるセッションの他、各賞の発表と表彰が行われた。

#### 公1-3. セミナー

市民セミナーは開催を計画したが中止し、セミナーをCOVID-19タスクフォース共催・学会設立50周年記念事業として次のとおり開催した。

(1) 第66回日本水環境学会セミナー

- 1) 開催日 令和3(2021)年1月22日(金)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 176名
- 4) テーマ 水環境における病原性ウイルスモニタリング技術の動向

#### 公1-4. 産官学協力

水環境懇話会を次のとおり開催した。なお、見学会は開催しなかった。

(1) 第47回水環境懇話会

- 1) 開催日 令和3(2021)年2月2日(火)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 47名
- 4) テーマ マイクロプラスチックが海洋生態系へ与える影響

#### 公1-5. 国際学会

国際会議を次のとおり開催した。

(1) Water and Environment Technology Conference 2020-online (WET2020-online)を開催した。

(一部は、水ing株式会社からの出捐事業として実施した。)

- 1) 開催日 令和2(2020)年11月7日(土)~8日(日)
- 2) 場 所 オンライン開催

#### 公1-6. 学会設立50周年記念行事

学会設立50周年を記念する行事の企画を検討した。

#### 公1-7. 支部活動

7支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー等を実施した。

#### 公1-8. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) 環境工学連合講演会を開催する日本学術会議土木工学・建築学委員会企画分科会環境工学連合小委員会に継続して参画した。
- (3) WET2020-onlineなどの機会を捉えて、国際連携会員の拡大に努めた。

## 公2 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための機関誌等の発行

### 公2-1. 機関誌

- (1) 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
- (2) 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構（JST）が運営するJ-STAGE上で公開した。
- (3) 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」のVol.1～Vol.30のPDF版を収めたDVD-ROMを販売した。

### 公2-2. JWET

機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構（JST）が運営するJ-STAGE上で公開した。

### 公2-3. 水生生物資料頒布

水生生物調査法に関する環境省水・大気環境局／国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう」冊子および下敷を販売した。

### 公2-4. 学会設立50周年記念出版

学会設立50周年記念出版の準備として学会誌特集企画の全記事をまとめる作業を行った。

### 公2-5. その他

- (1) 年会等講演資料集を販売した。
- (2) 「水環境の事典」の編集を行った。

## 公3 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための助成・表彰等の研究支援

### 公3-1. 会員助成

水環境国際招聘賞および水環境国際活動賞

水環境国際招聘賞（いであ招聘賞）および水環境国際活動賞（いであ活動賞）を選考し、次の各氏に授賞した。

- (1) 水環境国際招聘賞（JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award）

Pengkang Jin (Xi'an University of Architecture and Technology, China)

Ari Rahman (Universitas Pertamina, Indonesia)

Xinmin Zhan (National University of Ireland, Galway)

Yu Xiaolong (Southern University of Science and Technology, China)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として上記の4名の海外在住外国人会員に対し「水環境国際招聘賞」を授与し、来年度第56回年会で研究発表を行う来日費用等を助成し表彰することとなった。)

- (2) 水環境国際活動賞（JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award）

にしかわ かほこ  
西川 可穂子（中央大学）

水環境プラスチック汚染に関するオンライン国際ワークショップの開催

わたなべ こうぞう  
渡辺 幸三（愛媛大学 沿岸環境科学研究センター）

東南アジアの蚊媒介感染症を制御する水環境管理のための国際協力の促進

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、上記2名に対し「水環境国際活動賞」を授与し、活動費用の一部を助成することを決定した。)

### 公3-2. 一般表彰

水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著である者及び地域の水環境保全・創出に貢献した

小・中・高校生のグループなどを年会等において表彰した。

(1) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 特定非営利活動法人 日本環境監視協会 (福岡市)

対象活動 水辺環境の生態系保全・清掃活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部」(みじん子賞)

受賞者 高槻市立第六中学校 自然観察同好会 (大阪府高槻市)

対象活動 淀川流域における水環境調査

(2) 7支部がそれぞれ表彰を実施した。

### 公3-3. 会員表彰

学会の発展に貢献あるいは、水環境に係る分野において特に優れた功績を認められる個人、あるいは優秀な研究論文を発表した個人等、内規で定められた表彰内容にふさわしい会員を、総会、年会及びシンポジウムの開催時に表彰した。(敬称略・50音順)

(1) 学会賞

該当者なし

(2) 学術賞

受賞者 おおはし あきよし  
大橋 晶良 (広島大学大学院工学研究科・教授)

対象研究 生物膜リアクターの排水処理機構の解明と資源回収への応用に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 なかじま ふみゆき  
中島 典之 (東京大学環境安全研究センター・教授)

主要対象論文 Metabolomic responses of an estuarine benthic amphipod to heavy metals at urban-runoff concentrations

掲載誌 *Water Science & Technology*, Vol.78, 2349-2354 (2018)

(4) 論文奨励賞(廣瀬賞)

受賞者 あきづき しんいち  
秋月 真一 (創価大学プランクトン工学研究所・講師)

対象論文 Effects of different light conditions on ammonium removal in a consortium of microalgae and partial nitrifying granules

掲載誌 *Water Research*, Vol.171, No.115445 (2020)

受賞者 みよし たろう  
三好 太郎 (前澤工業株式会社 現: 国立保健医療科学院生活環境研究部・主任研究員)

対象論文 Energy consumption in a baffled membrane bioreactor (B-MBR): estimation based on long-term continuous operation

掲載誌 *Water Science & Technology*, Vol.80, No.6, 1011-1021 (2019)

(5) 技術賞

受賞者 かつ ようせい  
葛 甬生 (水ing株式会社)

たかはし じゅんた  
高橋 惇太 (水ing株式会社)

にしむら りゅうじ  
西村 隆司 (水ingエンジニアリング株式会社)

くすもと かつこ  
楠本 勝子 (水ing株式会社)

ごうの しんじ  
郷野 慎二 (水ingエンジニアリング株式会社)

対象技術 流動担体を用いた2槽式嫌気性アンモニア酸化処理の窒素除去技術

受賞者	やまぎき ゆうじ 山崎 祐二	(株式会社竹中工務店)
	ふるかわ やすひで 古川 靖英	(株式会社竹中工務店)
	きたむら がく 北村 岳	(株式会社竹中工務店)
	こばやし たけし 小林 剛	(横浜国立大学)
	すずき いちろう 鈴木 市郎	(横浜国立大学)
	でん しょうい 田 小維	(横浜国立大学 現:パーク・システムズ・ジャパン株式会社)
	にしがき まこと 西垣 誠	(岡山大学 現:統合物性モデル技術研究組合)
対象技術	土壌・地下水汚染地盤を掘らずに省エネ浄化できる加温式高速バイオ浄化システム	

(6) 技術奨励賞

該当者なし

(7) 特別功労賞

受賞者	いとう みつあき 伊藤 光明	(いであ株式会社)
	みや あきこ 宮 晶子	(水ing株式会社)
	みょうが はるき 明賀 春樹	(オルガノ株式会社)

(8) 会長特別賞

受賞者	みうら ふみなり 三浦 郁修	(愛媛大学 沿岸環境科学研究センター／ オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM) 疾病管理センター)
-----	-------------------	--

(9) 博士研究奨励賞 (オルガノ賞) (◎: 最優秀賞)

◎三浦 郁修	みうら ふみなり	(愛媛大学 沿岸環境科学研究センター／ オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM) 疾病管理センター)
新福 優太	しんふく ゆうた	(鹿児島大学)
鳥居 将太郎	とりい しょうたろう	(東京大学)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第23回シンポジウムで発表した上記の3名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(10) 年会優秀発表賞 (クリタ賞) および年会優秀発表賞 (クリタ賞) 受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表賞 (クリタ賞)

相場 史寛	あいば ふみひろ	(京都大学大学院)
池永 健太郎	いけなが けんたろう	(北海道大学大学院)
石井 敦大	いしい あつひろ	(東北大学大学院)
石崎 知依	いしざき ともよ	(北海道大学大学院)
浦崎 幹八郎	うらさき かんぼちろう	(東北大学大学院)
片岡 弘貴	かたおか ひろき	(京都大学大学院)
須藤 菜穂	すどう なお	(愛媛大学大学院)
長澤 杏香	ながさわ きょうか	(東京大学大学院)
中島 芽梨	なかじま めり	(北海道大学大学院)
新田 しおり	にった しおり	(東北大学大学院)
松尾 稜介	まつお りょうすけ	(北海道大学大学院)

みくも	しょうた	
三雲	祥太	(京都大学大学院)
もりや	あさみ	
森谷	麻未	(京都大学大学院)
やしま	しょうた	
八島	将太	(東北大学大学院)
わたべ	よしひこ	
渡部	慶彦	(北海道大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の15名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

2) 年会優秀発表賞 (クリタ賞) 受賞者国際会議発表助成  
該当者なし

(11) 年会学生ポスター発表賞 (ライオン賞) (◎: 最優秀賞)

あんどう	ひろき	
安藤	宏紀	(北海道大学)
うちはた	まさき	
内島	雅希	(大阪大学)
おぎの	みずき	
荻野	瑞葵	(北里大学)
かきのき	りな	
◎柿木	里菜	(富山県立大学)
きたじ	ゆうた	
北地	優太	(京都大学)
たかはし	たいが	
高橋	大河	(北海道大学)
ながい	こうめい	
永井	孔明	(長岡工業高等専門学校)
なかむら	よしかつ	
中村	至克	(千葉工業大学)
にしみね	りゅうご	
西峯	隆悟	(大阪大学)
はこしま	すぐる	
箱島	卓	(東京大学)
まえだ	りょうた	
前田	稜太	(都城工業高等専門学校)
まちだ	さえ	
町田	紗英	(東洋大学)
まつむら	みのり	
松村	実乃里	(広島大学)
みうら	ようへい	
三浦	耀平	(東北大学)
みやけ	もとい	
三宅	元生	(香川高等専門学校)
もりやま	ももこ	
森山	桃子	(東北大学)
やました	ゆうき	
山下	優輝	(鹿児島大学)
YANG	XIAO	(立命館大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の18名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(12) 年間優秀論文賞 (メタウォーター賞)

対象論文 極端に大きな出水時の森林流域からの栄養塩流出：2011年7月の高知県西部四万十川源流域における事例  
受賞者 しのみや よしき よこやま ゆういち  
篠宮 佳樹<sup>1</sup>、横山 雄一<sup>2</sup>  
(1 森林研究・整備機構森林総合研究所、2 株式会社四電技術コンサルタント)  
掲載誌 水環境学会誌, Vol.42, No.5, 219-229 (2019)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に2019年「年間優秀論文賞」を授与し、第23回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に参加費等を助成した。)

(13) WET 優秀論文賞 (水 ing 論文賞) および WET 優秀発表賞 (水 ing 発表賞)

1) WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞 (水 ing 論文賞) )

対象論文 Feed Utilisation of Chlorella Vulgaris Cultivated with Aquaculture Effluent  
受賞者 Takuya SAKOMOTO, Yugo TAKABE, Takumi UEMURA, Takanori  
MASUDA, Yoshiko HOSHIKAWA (Tottori University)

対象論文 Impacts of Organic Matter Migrating from Pipe Materials on Microbial  
Regrowth in Drinking Water  
受賞者 Iftita RAHMATIKA<sup>1</sup>、Ikuro KASUGA<sup>1,2</sup>、Futoshi KURISU<sup>1</sup>、Hiroaki  
FURUMAI<sup>1</sup>

(1 The University of Tokyo、2 VNU-Vietnam Japan University)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞 (水 ing 発表賞) )

Micanaldo Ernesto FRANCISCO (Ehime University)

Ayane ITAKURA (The University of Tokyo)

Yudai KAMIYAMA (Iwate University)

Takuya KURIHARA (Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences)

Lingyu MENG (Nagoya Institute of Technology)

Atin NURYADIN (Yamaguchi University)

Chomphunut POOPIPATTANA (The University of Tokyo)

Iftita RAHMATIKA (The University of Tokyo)

Daiki SHIRAKAWA (Hokkaido University)

Shotaro TORII (The University of Tokyo)

Yu TOSAKA (The University of Tokyo)

Hanh Thi My VU (VNU-Vietnam Japan University)

Yasutaka YONEDA (Ritsumeikan University)

Yunxin ZHU (Tsukuba University)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2020-online の参加者のうち、上記 14 名の発表者に WET Excellent Presentation Award を授与した。WET2020-online での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2021-online で授与される。)

(14) 7 支部がそれぞれ表彰を実施した。

#### 公 3 - 4. IWA 支援・協力

国際活動への助成、IWA 活動への協力などを行った。

(1) 国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、次の 2 名に対して、2022 年 9 月 11 日～15 日にコペンハーゲンで開催予定の The World Water Congress & Exhibition in Copenhagen2022 (IWA2022, IWA2020 として 2020 年に開催予定がコロナ禍のため延期) 参加のための渡航費用等を助成することを決定した。

あわた たかのり  
栗田 貴宣 (国土交通省 国土技術政策総合研究所)

こすぎ ゆか  
小杉 優佳 (石川工業高等専門学校・助教)

(2) IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。

(3) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。



## 公4 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための研究調査

### 公4-1. 受託研究調査の実施

(1) 公益財団法人日本下水道新技術機構からの受託研究調査を次のとおり実施した。

令和2年度 下水中の新型コロナウイルス検出方法研究委託

(2) 環境省からの受託研究調査を次のとおり実施した。

令和2年度 水環境健全性指標普及啓発ツール開発業務

### 公4-2. 研究委員会活動

20 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、流域物質動態とノンポイントソース、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術、将来の水環境変化に対応した水供給システム、汽水域、地域水環境行政課題、マイクロプラスチック）が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

### 公4-3. 災害調査

日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」に継続して参画した。

### 公4-4. COVID-19 タスクフォース活動

下水および水環境中の新型コロナウイルス（COVID-19）の検出・除去・リスク管理に関する国内外の情報収集・発信を目的として、日本水環境学会 COVID-19 タスクフォースを設立し、株式会社日水コンおよび株式会社明電舎から寄付を受け、次の活動を行った。

- ・ 海外の調査報告や関連情報の収集
- ・ 国内における調査研究の連携支援と情報交換プラットフォームの提供
- ・ IWA COVID-19 Taskforce との連携と情報交換
- ・ 関連情報の学会員および産官民ステークホルダーへの情報発信
- ・ 国内研究成果の積極的な海外発信

## 〔2〕収益事業

### 収1. 事務室賃貸

対象収益なし。